



G7 デジタル・技術大臣会合の閣僚宣言における「責任あるAIとAIガバナンス」のポイント

1. 閣僚宣言（本文）

- G7は、人間中心で信頼できるAIを推進し、AI技術がもたらす利益を最大化するための協力を促進
- G7メンバー間で異なる場合があるAIガバナンスの枠組み間の相互運用性の重要性を強調
- 「AIガバナンスのグローバルな相互運用性を促進等するためのアクションプラン」を採択
- 国際技術標準の開発・採用を奨励し、**中小企業・スタートアップ・学術界等の全てのステークホルダーの参画を支援**
- **AI政策と規制が民主主義的価値観に基づくべきことを再確認**
- **生成AI技術が顕著になる中で、生成AI技術の持つ機会と課題を早急に把握し、技術が発展する中で、安全性と信頼性を促進し続ける必要性を認識**
- OECDやGPAIなども活用し、**AIガバナンス、知的財産権保護、透明性促進、偽情報への対処、責任ある形で生成AIを活用する可能性**について、**G7における議論を行うための場を設ける**

2. 閣僚宣言（附属書5）

<G7 Action Plan for promoting global interoperability between AI governance frameworks>

- 信頼出来るAIのための相互運用可能なツールの役割を支持し、責任あるAIイノベーションのためのオープンで実現可能な環境を構築する役割を認識
- 国際標準化機関による国際標準開発への多様なステークホルダーの参加を支持
- 信頼できるAIのためのツールに関するG7 ワークショップやラウンドテーブルを通じた対話の促進
- OECD、GPAI、UNESCO等を含む国際機関やイニシアティブとの協力を歓迎。G7やOECD等における、生成AIを含むAIに関する今後の機会や課題に関する将来の政策や社会のニーズについて、関連する全てのステークホルダーとの協力を強化
- 発展途上国や新興国との関与を強化し、世界的にAIイノベーションを実現可能とする環境を支援するとともに、世界中のAIガバナンスの枠組み間の相互運用性を促進するための努力を歓迎

3. 議長国会見における松本総務大臣コメント

- AIガバナンスの相互運用性を促進する重要性についてG7で認識を共有。
- 生成AIについて、その機会とリスクについて議論を行い、G7における議論を行うための場を早急に設けることについて合意。
- G7として議論を加速し、認識を共有し、G7として向かうべき方向を示して、力強いメッセージを発信していくべき